お元気ですか！
志 村 たかよし です

第８５９号　2017年10月8日

日本共産党中央区議団
中央区　築地　１－１－１
電　話　３５４６-５５６３
ＦＡＸ　３５４６-９５７０

２０１７年第３回定例会

加藤ひろし議員が一般質問

第３回定例会が、９月22日から10月19日の日程で始まり、26日には、日本共産党区議団を代表して、加藤ひろし議員が一般質問に立ちました。

また、２０１６年度の決算を審議する決算特別委員会は、10月３日から19日の日程で招集され、日本共産党からは私（志村）と小栗智恵子議員が論戦に臨みます。

加藤議員は、日本共産党区議団を代表して26日の一般質問に立ちました。

北朝鮮問題

加藤議員は、「安倍政権と平和問題」をテーマに「北朝鮮問題」「核兵器禁止条約」「憲法９　条改憲」について区長の見解を問いました。

北朝鮮問題で、区長は、安倍首相が国連総会で「必要なのは対話ではない。圧力だ」と強調し、対話と交渉による解決を全面否定したことを批判せず、「外交努力が重要」と述べるにとどまりました。

区長を追及する加藤議員＝本会議場

豊洲移転問題

「築地市場の豊洲への移転」問題では、豊洲の土壌汚染対策が失敗し、小池都知事が「無害化」方針を破棄したことを批判し、区長の見解を問いました。

区長は「専門家会議の検討・提案を都が確実に講じていくことが大切」「安全対策は都の責任でなされるもの」という従来の見解を繰り返しました。

【質問事項】

①安倍政権と平和問題について
②築地市場の豊洲への移転について
③入学準備金の前倒し支給について
④国民健康保険について
⑤晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業（選手村）について

住民要求

加藤議員は、各地で広がっている、小中学校入学前の入学準備金支給を中央区でも実施することを求めましたが、教育長は、システム改修の問題もあり「検討する」との冷たい答弁でした。

また、国民健康保険料の引き下げや多子世帯家族への負担軽減を求めるとともに、「晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業（選手村）」について「晴海での特別養護老人ホームの増設」「晴海でのいきいき館（敬老館）の建設」「選手村用住宅の一部を、都営住宅など公共住宅に転用すること」などを求めました。

さらに、「選手村跡地に住む方の避難場所・計画」「晴海にできる新しい街の地域コミュニティ、建物内のコミュニティ形成の育成」について、区の見解を聞きました。

全員協議会で 豊洲新市場を視察（４）

― 仲卸業者が商売しやすい市場とはいいがたい ―

卸と仲卸をつなぐのは連結通路

広大な水産卸棟を視察して、次に向かったのは、仲卸棟です。

卸棟と仲卸棟をつなぐのは連結通路（左写真）で、４か所あります。

水産卸売り場で買った水産物を店に運ぶためには、高さ２ｍ余りしかない連結通路を通らなければなりません。

さらに問題なのは、この場所の地下にある汚染物質は、対策が取られず、残っていることです。

床が劣化すると、地下に潜んでいるベンゼンや水銀などの有害物質が気化して充満するのではないかと仲卸業者は心配しています。

なぜ、卸と仲卸が接していないのでしょうか…。それは、間に幹線道路が走っているからなのです。

その道路の下に、この連結通路が作られました。

「開放感」がない水産仲卸施設

築地市場の水産仲卸施設は、開放感がありますが、ここ豊洲市場は店の仕切りがあり、天井も低く、「狭い」「窮屈」という感想を持ちました。

店一コマの間口は、１・５ｍしかなく、「長い包丁が使えない」と話題になりましたが、実際に目にすると、たしかに「狭い」です（左写真）。

仲卸業者が商売しやすい市場をつくったとは、とても思えません。

（つづく）

ブログもごらんください　志村たかよしワールド　検索